

軍善戰健闘して、敢て大衆の力を借らすとも克く皇土の護持に努むる
てあらうことは申す迄もありません。然し場合に依りては敵の侵襲
退の爲戦ふ第一線は、一兵も雖多きを欲し後方部隊の全部を擧げて第
一線に使用する必要の發生なきを保し難く、更に統制ある民間團體を
も第一線に使用する場合亦絶無てはありますまい、政府即ち茲に鑑み
過般國內警備態勢悪化の場合に於ける具体策を決定し、之か實施に遺
憾なきを期した次第であります、地方第一線の重責に任すへき各位に
於ては、右趣旨を体し益々周到なる準備と訓練とに努め遺算なかられ
ことを期すると共に、事に臨みて敏速果斷應變の措置を講し、苟も動
せず而かも克く國土防衛の目的を達成し得る如く現地即應の態勢を確

保せらるべきであります。

若し夫れ計畫上の統制團體に對し、所要の武装を整備し置くことは固より必要な處置でありますか、其他の使用計畫なきものに對し、輸送補助の場合を顧慮して搬ひ棒等を平素より準備せしむるは可なるも、竹槍部隊等を特設し、生産の急遽増強を第一義視して形式的訓練に熱中せしむる等の處置は、未だ其必要を認め居りませぬ、特に此際本邦在留外國人に對する態度は、飽く迄も大國の襟度を持せしむる様一段の指導を希望致します。

右に反し防空態勢の強化確立に關しましては、一瞬の猶豫をも許さぬものがあります、先般來兩三度に亘る西日本の空襲に際し、官民一

致能く防護の任に當り、被害を最小限度に止め得ましたことは、洵に
心強い限りでありますか、愈々官民の熾烈なる闘魂を振起して防空に
努力すべき情勢に鑑み、此際特に重要な生産機關の防空施設を促進
することに要望せられ、之が爲資材其他窮乏なる諸條件の打開に關し
ては、此上とも一層の創意工夫を發揮せられたいのであります。

五 庶政執務の刷新

庶政執務は官民の迅速適切なる輔佐進言に依り、上司に於て立案せら
れたる企圖方針が、官場の秩序を重する各階層の事務簡捷的處理を通
して、行政各機關の末端にまで迅速適確に浸透し、事態の真相を適確
に認識せしめらるゝ輿論の指導と相俟つて、下より盛り上る明朗潤達

なる國民運動となつて實踐に移さるる時、初めて即時敏速に活動し最大の効果を發揮するのであります。特に國民同胞に接する吏僚は常に己を正しくして國民同胞の信頼感を確保せねばなりません、吏僚個々の言語動作は取りも直さず國家の言語であり國家の動作であります。故に國民が政府を信頼するか否かは懸つて吏僚各自の言語動作が國民の信頼を贏ち得るや否やの點に存するのであります。昨今往々にして生ずる事例に見ましても國民の信頼を裏切るが如き吏僚の言語動作を見聞すること尠くありません。

瀆職的舉犯の唾棄すべきは申す迄もありません。か吏僚日常の生活振りに於て、又其の執務振りに於て國民の怨嗟の的となる事例すら尠く

ないことは深く遺憾とする處であります。

各位は地方長官として克く部下吏僚を指導誘掖し之を教養訓化して以て陛下の官吏として立派なる存在たらしむる様に仕立て上げ、國民の政府に對する信頼の昂揚に一段の努力を傾倒する如く配意ありたいのであります。

翻つて庶政措施の緩急に至つては、時局は今や決戦期に入らんとし、検討横議に多くの時を與へぬ實狀に在りますが故に、事の必然實行を要するか如き問題に對しては、書類に依る許可手續の完了に先行して學業に着手せしむる等、現狀に即して自ら宜しきを制すへきてあります。

結 言

以上當面の急務なりと思惟する事項に關し、所懷を披瀝して各位か
重責實行の資に供しましたか、由來企圖も方針も一に實踐を俟つて
始めて其效果顯はれ、而かも實行の爲の措施緩急は、常に動いて已
まざる環境に即應し自ら剴切妥當に處決せらるべきこと勿論であり
ます、就中現下の情勢は局面打開の爲、一切の事項を大東亞戰完勝
を目指す次期決戰に對し、一億結集必勝信念の下愈々戰意を昂揚し、
急速に生産戦力の増強と國土防衛の完璧に向つて、突進せねばなら
ぬ環境に在ることを銘記せられたいのであります。